大隅教育事務所だより
一隅を照らす山と野と渚の教育
～心に灯をともし，郷土に誇りをもち，夢を育む大隅の教育～

第２号
令和３年
９月 28 日発行

「ちゃんとやってよ」

指導課長　原口 雅也

夏の全国高校野球，決勝。智弁和歌山高校が，奈良の智弁学園との兄弟校対決を制し，３回目の優勝を果たした。実に２１年ぶりだったそうだ。
智弁和歌山高校と聞いて，すぐに思い浮かぶ人物がいる。イチロー選手である。
昨年１２月，イチロー選手は，智弁和歌山高校野球部の特別コーチとして招かれた。わずか３日間ではあったが，生徒たちにとって，決して忘れることのできない貴重な３日間だったに違いない。
当時，そのときの様子が，夜のニュース番組の特集で流れた。３日間の指導を終えた後のインタビューで，取材スタッフがイチロー選手に尋ねた。「指導のポイントは？」
イチロー選手は３つ答えた。

１　見る	２　伝える	３　考えさせる

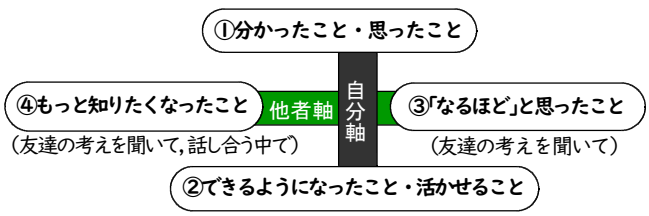
具体的にはこういう意味であった。
１　見る　→ 実態を見極める。（何が課題なのか）
２　伝える　→ 心に届かせる。
（どう言えば，どんな言葉を使えば，どんな話をすれば「伝わる」のか？）
３　考えさせる → 自分で考えて，行動できるようにさせる。
（だから，「自由練習」の時間を設ける）

さらに映像では，練習中，入れ替わり立ち替わり，イチロー選手に質問をしにやってくる生徒の様子も流された。答えるイチロー選手。１から１０までていねいに教えるのではない。大事なことを短く伝え，考えさせる。そんな印象を受けた。
別れの場。イチロー選手は生徒たちに向かってこう言った。
「ちゃんとやってよ。見てるから。」

あれから８か月。
試合後，生徒たちに送られたイチロー選手からのメッセージは，こう締めくくられている。
「見事でした。おめでとう。」
智弁和歌山高校野球部の生徒たちは，「ちゃんとやった」結果を「優勝」という最高の形で示した。

「振り返り」と「見届け」の充実　～１単位時間における終末～

「振り返り」は自分軸と他者軸で考える



①～④の観点から，２つ以上選んで書かせ続けることで，次のような力が身に付きます。

◎ メタ認知力 → 自分の姿を，もう一人の自分が，外から眺めることができる力
◎ 自己調整力 → 「今度はこの視点から考えてみようかな。」「もっとこの部分の復習をしないといけないな。」等
◎ 書く力

※　授業での活動等を思い返し，それを言語化することで自分の学びを整理します。（音声言語・文字言語）

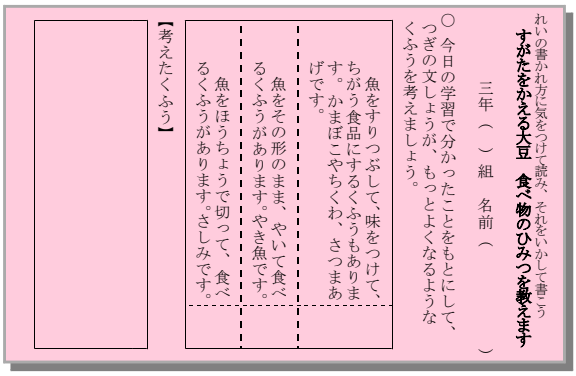
※　「振り返り」の時間を確保するために，
○　導入に時間をかけすぎない。
○　日々，「無駄な発問，指示，説明，ゆさぶり等はなかったか」という視点で自分の授業を見直す。

問題を解かせて「見届け」る

※ 推測ではない，事実での「見届け」

授業者（教科担任，学級担任等）	
目的	問題例
本時で身に付けさせたい資質･能力等が身に付いているかを確認する。	○　ポストテスト ○　教科書にある問題 ○　演習問題　　等

◇　「できるだろう。」ではなく，「よし，できている。分かっている。」まで見取り，確認しましょう。
◇　ポストテストは，どの教科でも作成可能です。小学校国語での作成例を下に示します。


れいの書かれ方に気をつけて読み，それをいかして書こう
すがたをかえる大豆　食べ物のひみつを教えます
三年（　）組　名前（　　）
○今日の学習で分かったことをもとにして、つぎの文しょうが、もっとよくなるようなくふうを考えましょう。
魚をすりつぶして、味をつけて、ちがう食品にするくふうもあります。かまぼこやちくわ、さつまあげです。
魚をその形のまま、やいて食べるくふうがあります。やき魚です。
魚をほうちょうで切って、食べるくふうがあります。さしみです。
【考えたくふう】

※ 推測ではない，事実での「見届け」
授業者（教科担任，学級担任等）
目的
問題例
本時で身に付けさせたい資質･能力等が身に付いているかを確認する。
○　ポストテスト
○　教科書にある問題
○　演習問題　　等

ＧＩＧＡスクール構想の実現へ　～１人１台端末は令和の学びのスタンダード～

多様な子供たちを誰一人取り残すことなく，子供たち一人一人に公正に個別最適化され，資質・能力を一層確実に育成できる教育ＩＣＴ環境の実現を目指します。

一斉学習
個別学習
協働学習

学びの深化・転換

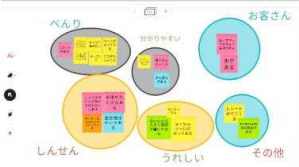
① 子供たち一人一人の反応を踏まえた**双方向型**の一斉学習が可能になります。
② 一人一人の**教育ニーズや，学習状況に応じた**個別学習が可能になります。
③ 各自の考えを**即時に**共有し，多様な意見にも**即時に**触れる協働学習が可能になります。

【実践例１】
垂水市立新城小学校

「毎日子供に触らせる」をモットーに，朝の会から活用しています。保護者も親子体験を通してよさを実感しています。

【①子供が自分の考えを教師へ送信】

【②ＡＩ型ドリル教材でのポストテスト】



【③デジタルホワイトボードでの協働学習】

【実践例２】
曽於市立大隅中学校

今ある環境で，「今，実践できること」を整理してまとめています。各教科等で試行錯誤しながら，活用を進めています。

【①教師による課題の配布・回収(社会)】

【②撮影した風景の個別活用(美術)】

【③動きを撮影した動画の共有・確認(保体)】

令和３年度大隅地区中学校道徳教育研修会

７月９日（金）に東串良町立東串良中学校を会場に新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら開催しました。東串良中学校では，発問の工夫や日常生活を意識させる場の工夫に取り組んでいました。特に，焦点化した発問が優れていました。

焦点化した発問

「いつ，誰に，どこで等」文章全体ではなく，場面を限定したり，複数いる登場人物の中から１人に絞ったりして，生徒が自分事として考えられるような発問の工夫に取り組んでいました。

【１年生の授業の様子】

各学校でも，児童生徒が，道徳的価値の理解を**自分自身との関わり**で深め，**一面的な見方から多面的・多角的な見方に**発展させる道徳科の授業を進めましょう。

地区人権教育授業実践研修会

６月15日(火)に曽於市立諏訪小学校で開催し，曽於市内の小・中学校から34人が参加しました。

小学校第６学年社会科【公民的分野から歴史的分野へつなぐオリエンテーション：同和問題に関する学習内容】の授業（動画視聴）を通して，研究協議を行いました。持続可能な開発目標(SDGs)や識字学級の歩み等を取り上げ，「学ぶ機会の平等」について児童自身の生活と比べながら考えさせました。

【研究協議の様子】

※ 当日の学習指導案は，大隅教育事務所のホームページにありますので，御覧ください。

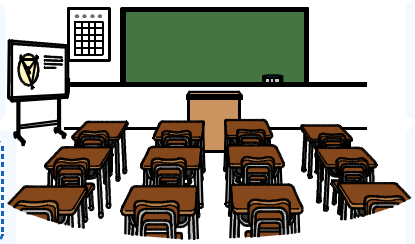
自他の大切さを認めることができる子供の育成
～ 教職員の基本姿勢 ＝ Momを生命線に！ ～

特別支援教育の充実 ～ユニバーサルデザインの視点による授業づくり～はできていますか？

ユニバーサルデザインは，特別支援教育の視点から**障害の有無に関わらず，すべての人にとって使いやすく，理解しやすい**こととされています。もう一度，学校内，教室等，チェックしてみてください。

★予定（見通し・自主性）
・時間割や予定表等，分かりやすく見える形で掲示されているか。

★座席（学びやすさへの配慮）
・配慮が必要な子供の実態を把握して座席の工夫をしているか。



★情報（視覚的・聴覚的刺激）
・黒板の周りはすっきりしているか。（掲示物は最小限に）

★整理整頓（ルール）
・机の中やプリント類，カバン等，きちんと整理されているか。